

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年8月2日

事業所名 館林市障がい児通園事業 すくすく

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・必要に応じてパーティションを使用し、スペースを確保しています。	・定員に対しては適切かもしれないが、体格(年齢等含)や障害特性等により狭く感じる事もある。活動によっては廊下等を使用し安全な支援が出来るようにしている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・障害特性によって1対1での支援を必要とする子が多いです。 ・配置基準は満たしていますが、障害特性等を踏まえると基準数だけでは足りていない状況です。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・ヒヤリハットや事故報告の検討策を取り入れ、目標設定等に繋げるようにしています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・オンライン開催を活用しています。	・特定職員等に縛られる事なく参加できるよう、案内の届いた研修については案内用紙を配布、回覧し周知しています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		・コロナ禍で難しくなっていた買い物体験等を行なう為に室内に疑似店舗を用意し活動を行ないました。 ・利用時間に応じて課題数の調整を行なっています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・ノートを活用し情報共有漏れのないようにしています。	・保護者にご協力頂きサービス提供時間の変更を行ない支援開始前に打ち合わせを行なう時間を設けられるようになりました。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	・ノートを活用し情報共有漏れのないようにしています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		<p>・送迎時に担任の先生と情報共有したり、学校の連絡帳を見る(保護者承諾済者)等で情報を取り入れたり、保護者へ年間行事予定表を提供して頂き把握するようにしています。</p> <p>・下校時刻の変更連絡はFAXにて知らせて頂く学校もあるが、無い学校もある為、学校や保護者へ逐一確認を行ない、送迎漏れ等のないようにしています。</p>
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		<p>・センター内看護師が中心となり行なっています。</p>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		<p>・児童館を利用したが対象年齢等が当てはまらない学年もあり今後はどのように利用するのか等を検討していきます。</p>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<p>・保護者送迎時に支援内容や本人の様子等をお伝えし家庭での様子等も聞くようにしています。</p>
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<p>・支援内容や本人の様子を伝えながら家庭内での様子を聞く事で悩み等を話しやすい状況を作るようにしています。</p>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		<p>・コロナ禍で状況をみつつ放デイ独自の親子行事を行なう等して保護者同士が交流できる場を設けるようにしました。</p> <p>・感染状況を見極めつつ、保護者会開催を考えています。</p>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		<p>・毎月、通信を発行し活動内容等の発信をしています。</p>
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		<p>・感染状況等を見極めつつ、秋まつりや防災訓練等の招待を再開していきたいです。</p>

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・保健だより等を活用しています。	・今後は保護者への周知を行なっていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・日頃から支援を行なう中で、虐待にあたることがないか等、職員間で確認しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・過去事例をファイルにまとめ、いつでも振り返れる状態にしています。	